

アクアレンジャー作業マニュアル



商品名：アクアレンジャー

規格：1t用～10t用までの10種類

推奨使用頻度：1～2週間に1回実施

※各都道府県等の条例により異なります

事前準備：できるだけ換気を良くしてから作業をおこなって下さい。

自動塩素濃度計が設置されている施設は、計器に二酸化塩素が流入しないよう止水弁を閉めて下さい。

1. アクアレンジャーによる消毒作業〔標準仕様〕

◆作業は入浴者や清掃作業者が居ない時間帯（営業終了後や休館日）におこなって下さい。

◆アクアレンジャーの使用量目安は、浴槽水1tに対して1t用1セットです。



●気泡発生装置が設置してある浴槽は運転を停止して下さい。

●アクアレンジャーの袋を真ん中から折りたたみ、切り口を合せて開封します（切りにくい場合はハサミをご使用下さい）。

★浴槽水の上で中の粉末が飛び散らないように注意しながら作業をおこなって下さい。

★万一、床などにこぼしてしまった場合は、すぐに多量の水で洗い流して下さい。



●循環運転したまま浴槽底面1ヵ所に2剤の粉末が集まるようにゆっくりと投入します。

★2剤を散らばるように投入すると、反応効率下がりますのでご注意ください。



●左記写真のように黄色い二酸化塩素が徐々に発生してきます。

●1時間以上は循環運転をおこなって下さい。

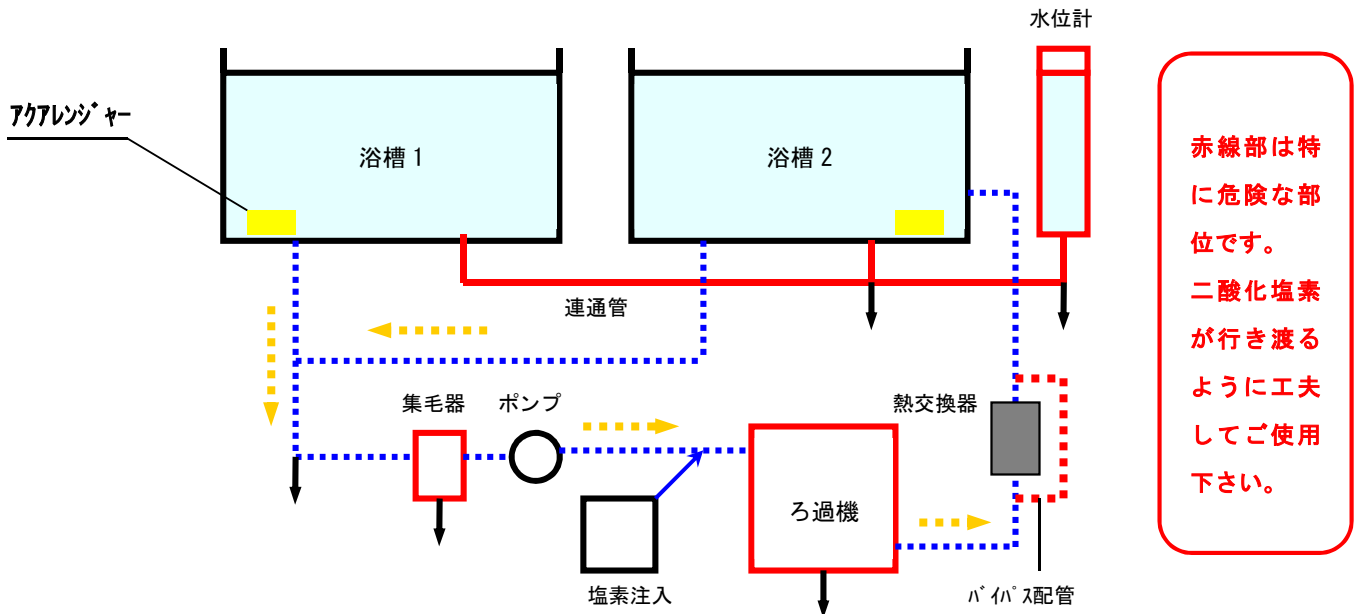
★薬剤投入後は、濃度測定まで浴室外で待機して下さい。

★薬剤投入場所は、材質によっては腐食する可能性がありますので金属部を避けて下さい。

2. アクアレんジャー投入後の作業

◆二酸化塩素発生後、下記の危険部位に行き渡るようにバルブ調整して下さい。

※二酸化塩素が菌と接触しなければ効果はありません。



その他、「オーバーフロー回収溝及び回収槽」「ろ過機及び水位計等のドレン配管」「気泡発生装置系統の配管」「通常循環ライン以外の配管」などが危険部位となりますので、必要に応じて洗浄・消毒をおこなって下さい。

3. 二酸化塩素濃度の測定

循環運転1時間後に二酸化塩素濃度を測定します。

レジオネラ菌対策としては、1時間循環後の二酸化塩素濃度が1ppm以上残留していることが目安となります。

もし1ppm未満だった場合は、再消毒をおこなって下さい。

特に天然温泉は二酸化塩素と反応する成分が多く含まれているため、すぐに濃度低下することがあります。

効果確認のために濃度測定をお勧め致します。

※残留濃度が検出されない場合は、別途ご相談下さい。



【簡易二酸化塩素濃度測定キット】

4. 排水作業

◆排水前に必ずろ過機の逆洗をおこなって下さい。

◆排水して下さい（オーバーフロー槽等も含む）。

◆河川・湖沼又は浄化槽へ直接排水する場合は必ず残留濃度を測定し、場合によっては排水前に中和処理して下さい。【中和剤：亜硫酸ナトリウム 又は チオ硫酸ナトリウム(ハイポ)】

5. 注意事項

◆アクアレンジャーは、本作業マニュアル以外の方法で絶対に使用しないで下さい。

※水量が少ない閉所空間で使用すると、高濃度の二酸化塩素ガスが発生するため危険です。

◆換気が悪い浴室で作業する場合は、「ハロゲン用マスク」と「ゴーグル」を着用して作業して下さい。

※弊社でも取扱いしておりますのでお問い合わせ下さい。

◆ジェットやパイブラ等の気泡発生装置を使用している場合は、一旦停止してから消毒作業をおこなって下さい。
ジェットシステムの配管内消毒をおこなう場合は、循環消毒中に1分間程度運転（15～20分に1回）し二酸化塩素を吸い込ませてから停止して下さい。

※2～3回繰り返し作業【室外待機・換気注意】

◆湯張りの際に二酸化塩素が残留（浴槽水が黄色）している場合は、再度排水して下さい。

※中和剤を過剰投入すると、新湯の残留塩素濃度がなかなか上がらないことがありますので排水をお勧めしております。

◆「レジオネラ菌が検出された場合」ならびに「生物膜（バイオフィーム）除去をおこないたい場合」は、本作業マニュアルの使用法とは異なりますので別途ご相談下さい。

※安価で高濃度二酸化塩素処理や過酸化水素洗浄・消毒がおこなえる専門業者をご紹介しますこともできます。

◆アクアレンジャーを使用することにより、レジオネラ菌が0（ゼロ）になることを保証することは出来兼ねますので予めご了承下さい。

※循環ライン以外に二酸化塩素が接触しない危険部位や死水箇所がある可能性があります。

有料となりますが、現場で危険部位（死水箇所）の特定をおこない、独自のマニュアル化も対応します。

◆製品は冷暗所、乾燥した通気の良い場所に保管して下さい。

※開封後の商品は保管できませんので、必ず使い切して下さい。

◆ご使用前に必ず「アクアレンジャー作業マニュアル」「商品ラベル」「製品安全データシート」をよく読み、理解してから作業をおこなって下さい。

※自己流で使用方法を変更したりすると事故につながる可能性があります。

レジオネラ菌が検出された場合や作業上でご不明な点などございましたら、
お気軽に下記までご連絡下さいますようお願い致します。

株式会社リンクス 環境衛生事業部/藤田

TEL : 03-3971-1175 または E-mail:fujita@s-k.gr.jp

レジオネラ菌対策相談室 → <http://www.onyokueisei.com>